

# 至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより  
NO. 21 令和元年10月8日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～



## 本校教育へのご意見 ありがとうございました

7月に行いました学校教育に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートの結果については先日学校だよりでお知らせしたようになっております。アンケートに際して保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。一部を紹介したいと思います。

### 学習指導について

- 授業が分かりづらいようです。
- 授業の進度が遅いように思います。
- 中間テストや期末テストで範囲になっているところはしっかり教えてほしい。
- 英語検定や漢字検定を子ども達にもっと勧めてほしい。
- ワークの提出期限が以前より早くなり、テスト勉強ができるようになり良かった。

生徒アンケートでも「授業が分かりやすい」の問いに「あてはまる」と答えた生徒の割合が昨年の35%から今年は25%にまで下がってしまいました。

本校では学力向上の柱として、第一に教師の指導力の向上、第二に個人差に対応した学び合い学習（コの字型や小グループ活動の導入）の実践を掲げて取り組んでいます。自ら課題に取り組む生徒、進んで家庭学習を行う生徒が徐々に増えてきています。

### 学校生活全般について

- クラスの中に休みがちな生徒が多いことが心配です。
- 学校を休んでいる生徒が早く登校できるようになり、みんなで卒業式を迎えられるよう願っています。
- 自転車で登下校する生徒の運転が危ないと感じる時がある。
- 家庭訪問がなくなり、学校から情報を得る機会が少なくなった気がする。

本校の課題の一つに不登校生徒が増加傾向にあることがあげられます。学校に行きたくても行くことができない理由は一人一人様々です。

学校では担任や学年主任、生徒指導主事や部活動顧問、スクールカウンセラーがそれぞれ連携して、生徒の気持ちが登校に前向きになるように取り組んでいます。

新年度が始まった4月は、教師と生徒がお互いを理解し、よりよい関係を築いていく大事な時期と考え、家庭訪問をなくしました。また、この時期は、担任と保護者がお互いを理解するうえでも大切な時期です。4月もしくは5月に保護者と担任が話し合える時間が確保できるか検討していきます。

### 部活動について

- 顧問の先生の発言に一貫性がなく子どもが戸惑っています。平等に注意されないために不信感を抱いています。聞きたいことがあっても怖くて聞けないようです。
- 日曜日の部活動は隔週にしてほしい。

心身ともに健全な育成を図ることを目標とする部活動において、その目標を達成するためには生徒と顧問及び保護者と顧問の関係が良好であることが不可欠です。顧問には指導方針をはじめ練習内容や方法等について生徒や保護者に十分に理解してもらうように指導しているところです。疑問点や不適切な言動があった時には学校（顧問または教頭）までご連絡下さい。

土曜日、日曜日の練習は原則どちらかを休養日としています。大会等で休養日が取れなかった時には、平日に月曜日の他にもう1日休養日を取るようになっていきます。

### 教職員について

- 授業中に「まだできてないの？」と他の生徒にも分かるように言われ、いやな思いをしています。
- アンケートに体罰のことを取り上げるべきです。人格否定、差別、侮辱的な発言など、断じて許されないことです。

「体罰（暴力行為）は絶対しない」、「言葉の暴力（暴言）、それも体罰」、生徒を一人の人間として尊重する。このことについては、年度当初に全職員で確認したことです。しかし、未だに上記のような言動をする教職員がいることについて深くお詫びします。今後さらに教職員の人権感覚を高める事例研修を行っていきます。

